北京市突発公衆衛生事件の緊急対応レベルを3級に調整

新発地卸売市場の集団感染が発生した後、党中央の強い指導の下、国家衛生健康委員会専門家グループの具体的な指導と他の省市の支援の下、全市をあげて迅速に行動し、最も断固で、最も果断で、最も厳格な予防・コントロール措置をとり、科学的に精確で効果的な施策を実施し、直ちに感染源をコントロールし、感染ルートを遮断し、疫病の予防・コントロールのネットワークをしっかりと構築した。2つの潜伏期間中、確定症例がゼロを維持し、疫病の蔓延を効果的にコントロールし、予防・コントロールの情勢が持続的に安定してよくなってきた。

最近、専門家を組織して北京の疫病状況を分析し評価した。北京の新型コロナウイルス肺炎予防・コントロール指導チームの研究を経て、手順にのっとり申請・報告を行い、7月20日零時から北京市突発公衆衛生事件の緊急対応レベルを2級から3級に調整することを決定した。

一、緊急対応レベルの引き下げに関する考慮

世界中からみると、当面と今後のかなり長い間、多くの国で疫病が蔓延し続け、 症例数は高位での成長を示し、海外からの輸入は北京にとって最も重要な疫病 リスクである。

当市から見ると、6月11日から7月19日まで、新発地卸売市場に関連する確定症例は335例と報告され、順義、懐柔、密雲、平谷、延慶の5つの区は持続的に症例報告がない、11の区は19日間以上新たに中・高リスク街・郷がない。全市では14日間連続で新たな確診症例がなく、16日間連続で社区の症例報告がなく、19日間連続で集団勤務先及び公共場所において2例及びそれ以上の集中感染がなく、29日間連続でほかの省・市への輸出症例がない。現在、新発地卸売市場の閉鎖期間は2つの潜伏期間を超え、11、229人は集中医学観察を解除された。現在、高リスク街・郷は全てゼロとなり、中リスク郷は1つしか残っておらず、13日間連続で新たな確診症例がないため、間もなくゼロになる見込みである。

総合的な判断により、現在、北京市では、ヒトの間での感染が低リスクであり、 社区の感染はコントロールされ、北京以外の地区への輸出のリスクは低く、疫病 状況は安定してコントロール可能であり、緊急対応レベル3級に引き下げる要 件が整った。 二、緊急対応レベル3級に調整した後、厳格にコントロールしなければならない 措置

3級に調整した後も、「海外からの症例の輸入を防ぎ、国内での再発を防ぐ」の戦略を依然として堅持し、「三防」、「四早」、「九厳格」を堅持し、常に高い警戒心を持ち、「科学、精確、効果的」の予防・コントロールの要求に従って、容易ではない予防・コントロールの成果を持続的に強化し、常態化の予防・コントロール業務を緩みなく遂行しなければならない。

厳格に堅持しなければならない措置:

- 1. 「四者責任」(属地、部門、事業体、個人)を厳格に実施し、事業体と個人 の健康モニタリング報告制度を堅持する。
- 2. 農産物市場、レストラン食堂、工事現場、工場などの重点場所の予防・コントロールを厳格にし、農産物市場などの環境健康モニタリングと従業員の症状報告制度を確立し、風通しが悪く、暗く湿っぽい地下の空間は営業取引場として利用しない。
- 3. 税関での食品・貨物の検査と検疫を厳格にし、輸入されたコールドチェーン 食品の監督・管理を全面的に強化する。
- 4. 海外から北京に入る者に対する全員集中観察とPCR検査を厳格にし、目的地が北京の国際便について指定した第一入境地点で入境することを堅持し、中・高リスク地区の者が北京に入る際の管理・コントロール措置を徹底する。
- 5. 「検査すべき者を全て検査」することにより動態的に感染者をゼロとすること、及び「検査を希望する者は全て検査」のためにサービスを提供することを厳格に徹底する。
- 6. 社区の常態化した予防・コントロールを厳格に行い、予防・コントロール措置を精確に実行する。

- 7. 発熱外来の「1+3」(PCR+抗体、CT、血液の通常検査)検査、医療 衛生システムの常態化予防・コントロールと院内感染コントロールを厳格に する。
- 8.公共交通機関の体温検査と公共場所の体温検査、健康コード確認などの措置を厳格に行う。
- 9. 個人の衛生管理を厳格にし、「北京日常防疫ガイド」、「首都市民衛生健康 規約」を遵守し、健康的な生活を提唱し、愛国衛生運動を長期にわたって個 人、家庭、社区、事業体、業界、部門、属地の常態化した予防・コントロー ル業務の中に組み込む。
- 10.科学的にマスクを着用し、マスクを携帯することを堅持し、医療衛生、公共サービス従事者等のリスクの高い者はマスクを着用しなければならない。 1メートル未満の距離で接触する場合、人が密集した場所、密閉した場所ではマスクを着用しなければならない。こまめに手を洗い、社会的距離を保つことを提唱する。

三、緊急対応レベル3級に調整された下での予防・コントロール措置

国の常態化予防・コントロールの全体的な要求に基づき、北京健康宝による 登録・健康コードの確認を広く行った上で、以下の措置を秩序正しく調整する。

公園、観光施設とスポーツジム、図書館、博物館、美術館等の室内外の場所を50%の人数制限で開放する。主催側の主体的責任を徹底し、消毒・風通しを厳格に行い、社交距離を維持し、マスクを科学的に着用し、応急策を完備する前提の下で、約500人規模の会議を開催することが可能で、状況に応じ、会議の規模を動態的に調整する。評価を経て、次第に展示会、スポーツ大会、演出イベント及び映画館の開放について、人数制限をしながら進める。

さらに、疫病状況を持続的に分析し、予防・コントロール策を動態的に調整 する。

市全体の努力を経て、現在の予防・コントロールの情勢は安定して良好な方向に向かっているが、試験は未だ答案を提出するタイミングにはいたっていないことを皆さんは冷静に認識しなければならない。一方で、新型コロナウイルス自身が未知のものであることと感染源の隠匿性は、予防・コントロールの情

勢が依然として厳しく複雑で、今後かなり長い間、ウィルスが人類と長期に共存することを提示している。もう一方で、海外における疫病の大流行はまだ加速中で、国内の省・市と北京市は疫病の再発のリスクに終始直面している。これらは我々に始終一貫して警戒を維持するよう促しており、「海外からの症例の輸入を防ぎ、国内での再発を防ぐ」を緩みなく堅持し、各予防・コントロールの措置をしっかりと細かく徹底し、誰もが疫病の予防・コントロールの第一責任者として、発熱等の疑わしい病状が現れた際には直ちに報告し、診察を受け、自身と家族の予防・コントロール措置を厳格に実行しなければならない。同時に、秋冬に発生するであろう疫病に向けての対応を準備し、愛国衛生運動を幅広く展開し、環境整備、公共場所の規範化、社区の消毒、ゴミの分類、健康モニタリング、個人防護等をその中に組み入れ、疫病との戦いの中で形成された良い習慣、良いやり方を日常の仕事・生活の中に取り込み、自らが、それぞれの四者責任の職責を果たし、手を携えて共に我々の健康な家庭を守らなければならない。